

先進自治体に学ぶ 議会活動 REPORT

企画総務委員会

〈報告者〉企画総務委員長 山田 忠良
〈参 加〉委員9名

10月14日 岐阜県各務原市

新庁舎建設事業 / 公共施設の跡地活用

各務原市は、自然と都市機能が調和した公園都市です。
各務原市では、老朽化・耐震性・バリアフリー等多くの課題を抱えた庁舎を令和5年に新しく建て替えています。庁舎建て替えにあたり、行政手続のオンライン化が進む中で必要な庁舎機能、市民合意の得方、建設費捻出の考え方などを学びました。



10月15日 岐阜県岐阜市

第2期岐阜市シティプロモーション戦略 / ぎふメディアコスモス

岐阜市は「選ばれる岐阜市」を目指して「まちの魅力を売り込む」ことを目的とし、特に、交流人口や定住人口だけでなく、関係人口にも着目してゴールやメインターゲットを設定しています。
ぎふメディアコスモスは「つかさのまち夢プロジェクト」の一環として整備されました。図書館の所管を市長部局に移し、まちの魅力創造・発信のため課同士で連携するなどの工夫を伺いました。



文教厚生委員会

〈報告者〉文教厚生委員長 かとう 涼子
〈参 加〉委員10名

10月15日 岡山県総社市

障がい者千五百人雇用事業

障がいのある方が生きがいを感じ、安心して働くことのできる地域を目指し、平成23年に事業を開始した総社市。丁寧なマッチングと就労先の開拓で、就労者は事業開始時の180人からわずか6年で1,000人を達成。個々の特性を生かせる職場との出会いで、本人もご家族も元氣になり、まちも地域経済も活性化するとのお話に、大きな刺激を受けました。



10月16日 広島県安芸郡府中町

子育て支援事業のICTの活用

行政情報のデジタル化、ICT化が全国的な課題となる中、府中町ではいち早く母子保健情報を一元管理する「ネウボラかるて」を導入。産前産後の面談や健診結果等の記録を情報連携させることで、細やかで切れ目のない支援へつなげています。
未就園児も気軽に相談できる「マイ保育園・幼稚園」の登録制度も、大変参考になりました。



建設環境委員会

〈報告者〉建設環境委員長 中川 清志
〈参 加〉委員9名

5月13日 青森県むつ市

AIによる災害対応報告システムを活用した図上訓練

今回視察した災害対応報告システムは、LINEなどを通じた被害報告をAIが自動で優先順位付けするもので、迅速な意思決定に役立つものです。高齢者へのスマホ購入補助によるLINE加入促進など、市民と連携した取組も印象的でした。今回の視察を本市の防災対策強化に生かしていきます。



5月14日 青森県八戸市

地域防災拠点施設としてのYSアリーナ八戸

視察した施設は、平常時はスケートリンクですが、発災時には最大8,000人を収容する避難所として機能します。また、救援物資の集積場や防災備蓄倉庫としても活用されます。
本市と人口が同程度の八戸市が、どのように大規模施設の防災活用を進めているかを知る貴重な機会となりました。



議会運営委員会

〈報告者〉議会運営委員長 田代 伸之
〈参 加〉委員8名、委員外議員8名

7月30日 愛知県新城市

議会の災害対応

議会防災意識の向上を目指し、議員が災害時に果たすべき役割を学ぶため、議会BCP(事業継続計画)を策定した新城市を視察しました。
BCP策定の経緯、災害対策本部における役割分担や、議員の安否確認方法・情報連絡体制の工夫など、災害時の迅速な対応を可能にするための具体的な取組は大変参考になりました。



7月31日 滋賀県大津市

政策検討会議

本市の議員による一層効果的な政策立案を行うため、議員が政策を立案・検討するための独自の仕組み「政策検討会議」を設けている大津市議会を視察しました。
この会議は、各会派から提案された政策案を、専門的かつ深く掘り下げて議論するためのものです。特に、制度の枠組みや設置の経緯、これまでの実績などについてお話を伺いました。



予算特別委員会の審査から

令和7年度補正予算

質疑の一部を紹介します。詳細は後日、会議録に掲載されます。公開予定は10面をご覧ください。

★一般会計(第6号)

主な補正内容 新規・追加の財政需要等への対応など
増額 39億5,560万6,000円

主な質疑

下保谷福祉会館浴場改修工事

問 福祉会館の浴場利用者の声は。
答 利用者懇談会の参加者から福祉会館の浴場について意見を伺ったところ、活動場所の拡充を求める声が多かった。浴場廃止後に生じるスペースについては、eスポーツ*活動も含め、多目的に高齢者の皆様が元気に使っていただけるような場を考える。

がん患者アピアランスケア*助成

問 今回、補正予算で増額するに至った経緯は。
答 本年7月1日の事業開始以降、想定を上回る申請があった。本事業ががん患者の方の心理的・経済的なサポートのみならず、治療後の社会参加、社会復帰、経済活動の再開等につながっていることを鑑み、がん患者の方に市として寄り添い、申請受付対応を継続するために必要な予算の確保を行う。

結果 賛成全員で可決

★一般会計(第7号)

主な補正内容 高齢者等の新型コロナウイルスワクチンの定期接種時に要する実費負担の軽減
増額 1,030万円

主な質疑 定期接種のお知らせ方法

問 どのように市民に周知していくのか。
答 市報・市のホームページ・SNS等へ掲載するほか、実施期間・自己負担額・有効性・副反応・実施医療機関・持ち物・注意事項などを記載したお知らせを全戸配布する。

結果 賛成多数で可決

★一般会計(第5号)専決処分*

主な補正内容 定額減税給付対象者を追加するため
増額 3億4,202万9,000円

結果 賛成全員で承認

*eスポーツ(エレクトロニック・スポーツ) コンピュータゲームをスポーツ競技として捉える際の名称
*アピアランスケア がんやがん治療によって起こる脱毛、皮膚・爪の変色、手術痕などの外見の変化に起因する身体的・心理的・社会的な苦痛を軽減するためのケア
*専決処分 議会が議決または決定すべきことについて、長が議会に代わって処分すること。「特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかである」場合等に行うものと、議会の議決によりあらかじめ指定(委任)したものとがあり、前者は次の会議(本会議)に報告し、承認を求める必要がある。